

## 正 誤 表

「健康・栄養科学シリーズ 社会・環境と健康 2024-2025（第1刷）」

下記の箇所にて誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所	誤	正
54	練習問題 2-A（設問部分）	<p>2-A. 生態系の中の人間について、正しいものに○、誤っているものに×をつけよ。</p> <p>(1) 主体-環境系とは、主体が環境に影響を及ぼしている環境形成作用のことを指す。</p> <p>(2) 紫外線は、発がんのリスク因子でもあるが、人間の健康を支えてもいる。</p> <p>(3) 生態系の中で、人間は生産者として位置付けられる。</p> <p>(4) 環境基本法は、公害対策基本法をもとに公害対策を強化するために1993(平成5)年に制定されたもので、地球環境問題への取り組みは含まれていない。</p>	<p>2-A. 生態系の中の人間について、正しいものに○、誤っているものに×をつけよ。</p> <p>(1) 主体と環境との相互作用の系である主体-環境系とは、生物とそれを取りまく無機的環境の間の相互関係を総合的にとらえた生物社会のまとまりのことである。</p> <p>(2) 人類の社会が持続可能であるためには、豊かな生物相との共存が必要である。</p> <p>(3) 2018年に策定された第5次環境基本計画では、2015年の国連サミットの17の持続可能な開発目標(SDGs)を中核とする「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の考え方が活用されている。</p> <p>(4) 公害対策基本法は環境基本法にもとに、自然環境保全法や地球環境問題への取り組みなどを組み入れて制定された。</p>
	練習問題 2-B（設問部分）	<p>2-B. 地球環境の変化と健康影響について、正しいものに○、誤っているものに×をつけよ。</p> <p>(1) 環境水域における水質の環境基準のうち、人の</p>	<p>2-B. 環境汚染と健康影響について、正しいものに○、誤っているものに×をつけよ。</p> <p>(1) 大気汚染について、光化学オキシダントの環境</p>

		<p>健康の保護に関する環境基準の達成率はほぼ100%である。</p> <p>(2) 二酸化窒素は、呼吸器系の病気を引き起こすので、環境基準が定められている。</p> <p>(3) 1955（昭和30）年、富山県神通川流域で起こったイタイイタイ病とは、ヒ素に汚染された米の摂取によって引き起こされた腎および骨障害を指す。</p> <p>(4) パリ協定は、COP21（2015年）で採択された温室効果ガス削減のための多国間協定である。</p>	<p>基準の達成率はほぼ100%である。</p> <p>(2) 水質汚濁について、水中の有機物が多い場合、生物化学的酸素要求量は低い値となるが、化学的酸素要求量は高い値を示す。</p> <p>(3) 典型的な公害は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染の3つである。</p> <p>(4) 公害の発生を防止する公害対策基本法は制定されているが、公害に係る健康被害の救済に関する法律は制定されていない。</p>
264	練習問題 7-C（設問部分）	<p>(1) 2019（令和元）年度の国民医療費の国民所得に対する比は、3%台である。</p> <p>(2) 2019（令和元）年度の傷病分類別医療費は、「循環器系の疾患」の割合が最も大きい。</p>	<p>(1) 2020（令和2）年度の国民医療費の<u>国内総生産</u>に対する比は、3%台である。</p> <p>(2) 2020（令和2）年度の傷病分類別医療費は、「循環器系の疾患」の割合が最も大きい</p>

2024年5月10日  
株式会社南江堂